校　訓　「自立」「共生」「創造」
教育目標　自ら学び人とつながりともに未来を創る

三とせの月日

「西陵中学校便り」
第８号　令和８年１０月３０日
ホームページはこちらから⇒

認め合い、支え合う力を育む　～文化祭の活動を通して願うこと～

校長　駒　場　秀　剛

10 月 16 日（金）に開催されました文化祭は、盛況のうちに幕を閉じることができました。保護者の皆様に温かいご声援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年の学校祭を振り返る中で、何よりも強く印象に残っているのは、３年生がリーダーシップを発揮し、最後までやりぬいた「縦割り活動」の姿です。今年度から、３年生のリーダー性や普段とは違う集団の中で柔軟に考える力が身につくことを期待して、縦割りの活動を実施することにいたしました。３年生は、下級生をまとめ、鼓舞し、一つの大きな目標に向かって集団を牽引してくれました。その責任感に満ちた姿は、１・２年生に頼もしく映ったはずです。この縦割りの絆と３年生が示した熱い姿勢は、本校の新たな伝統として確実に次の世代へと受け継がれる「灯火」となりました。これこそが、今年度の学校祭がもたらした最大の成果です。

文化祭の準備が始まると、生徒が考えて判断したり、先生がいない中でも集中して作業したり、生徒の主体性が試されます。限られた時間で仕上げなければならない、自分の考えを理解してくれない、などといったすれ違いから対立したり、力を貸してほしいのに手伝ってもらえないといら立って、強い言葉で叱責したり、生徒同士が密に関わることが多くなることで、トラブルが増えるのは本校に限ったことではありません。我が子が悩む姿を見て、親としては心配が尽きないのは当然のことです。しかし、そうした葛藤の中でしか学べないことがあります。その一つが、『相手を理解すること』です。

「私たちの能力のすべてを、
　　自分たちと同じように考えていない人々を受け入れることに注ぎ込もう」
これは、インドの独立指導者であったマハトマ・ガンジーの言葉です。

自分と違う考えを持つ人を拒絶したり、正論で論破したりすることは、実はそれほど難しくないと言われます。しかし、自分とは異なる背景や意見を持つ人を「まずは受け入れる」ということには、多大な心のエネルギーと、人としての強さが必要です。子どもたちがこれから生きていく社会は、ますます多様化し、正解が一つではない時代です。だからこそ、自分と違う存在を排除するのではなく、その違いに耳を傾ける心の体力を、この中学生の時期に養ってほしいと願っています。

他者を受け入れる一歩は、まずは身近な我が子の「違い」を受け入れることから始まるのかもしれません。親の思い通りにならない部分も含めて、「この子はこういう人間なんだ」と、その存在をそのまま認めること。それこそが、子どもたちが家庭で得る大きな安心感になります。家庭という絶対的な安全基地で「ありのままの自分を受け入れてもらった」という経験があるからこそ、子どもたちは学校や社会に出て、自分と違う他者を恐れずに受け入れる心の余裕を持つことができるのです。

もちろん、他者を受け入れるとは、相手の意見にすべて賛同することではありません。「あなたはそう考えるんだね」と、相手の視点を認めた上で、自分の考えも大切にしていくということです。

子どもたちが、お互いの違いを認め合い、支え合える大人へと成長できるよう、まずは私たち大人が、多様性を受け入れる背中を見せていきたいものです。

文化祭

16日（金）文化祭を開催しました。生徒会企画のオープニングから始まり、各学級の発表、ステージ発表、全校制作、壁新聞、各教科（書写、美術、家庭科）での取組の展示、合唱の発表と、数多く披露したものがありました。特に、本年度は、ステージ発表、壁新聞、全校制作は縦割りの活動となり、準備では先輩が後輩の活動をリードする姿が見られ、充実した異学年活動となりました。



人権教室

20日（火）小樽市人権擁護委員の中川さん、加藤さん、八幡さん（本校のスクールカウンセラー）の3名を講師に招き、人権教室を実施しました。いじめ防止対策推進法についての講話や、動画視聴後の交流を通して、全校生徒で人権について考えました。



日本の伝統文化に触れる

21 日（水）から、1･2 年生は体育の授業で柔道に取り組みました。授業では、商大生や小樽柔道会の皆様にご協力いただき、技の基本や礼法について学びました。また、28 日（水）からの 3 日間は、全学年の音楽の授業で和楽器「箏」の学習を行い、正派邦楽会の師範の先生にご指導いただきました。

どちらの授業でも、講師の皆様に実演を交えながら丁寧に教えていただき、生徒たちは日本の伝統や文化の魅力を体感しながら、伝統文化への関心を高める貴重な機会となりました。



2学年花壇整備

23日（金）今年度最後の生徒による花壇整備活動「チューリップの球根植え」をしました。花壇につきましては PTA 活動として、保護者の皆様の多大なご協力のおかげで運営できています。次年度もぜひお力添えをお願いいたします。





11月の SC(スクールカウンセラー)来校日

12（木）10:00～16:30
26（木）10:00～15:00

保護者も相談できます。相談の申し込みについては、担任もしくは学校（教頭 23-4204）までご連絡ください。

1年美術館見学

23日（金）、1年生が美術科の鑑賞授業で小樽美術館を訪問しました。「癒しはどこにある？」という企画展を鑑賞し、感想や考えを交流しながら理解を深めました。





令和８年１０月３０日

保護者の皆様

小樽市立西陵中学校
校長　駒　場　秀　剛

月別の学習内容について（11月）

日頃より、本校の教育活動について、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、来月の各教科の学習予定についてお知らせします。望ましい学習習慣、家庭学習習慣及び学力の定着のために、ご家庭でもお子様への声掛け等、お子様へのご支援をお願

	1年生	2年生	3年生
国語	6　いにしえの心にふれる	6　いにしえの心を訪ねる	6　いにしえの心を受け継ぐ
社会	地理的分野 第2章　世界の諸地域	地理的分野 第3章　日本の諸地域	公民的分野 第3章　現代の民主政治と社会 第4章　私たちの暮らしと経済
数学	4章　比例と反比例 5章　平面図形	4章　平行と合同	5章　相似な図形 6章　円
理科	身のまわりの現象 1章 光の世界 2章 音の世界	天気とその変化 2章 雲のでき方と前線 3章 大気の動きと日本の天気	運動とエネルギー 3章 エネルギーと仕事 地球と宇宙 プロローグ 1章 地球の運動と天体の動き
音楽	魔王	交響曲第5番ハ短調	・ブルタバ
美術	・構成の美しさ・生活を彩る文様	・心の中の世界	・形と色のコラボレーション
保体	〔実技〕 ・バレーボール 〔保健〕 ・心身の発達と心の健康	〔実技〕 ・バスケットボール 〔保健〕 ・障害の防止	〔実技〕 ・バレーボール 〔保健〕 ・健康と環境
技術家庭	＜技術＞ ・製図　・木材加工実習 ＜家庭＞ 日常食の調理と地域の食文化	＜技術＞ エネルギー変換の技術 （電気回路・電気機器・ラジオ製作） ＜家庭＞ 消費生活	＜技術＞ 情報の技術のまとめ ＜家庭＞ 幼児のおもちゃ作り実習
英語	PU.3　道案内をしよう① PU.4　店内放送を聞こう WW.4　順番・日付の言い方 Pro.7　Reserch on Australia	Pro.5　Work Experience Pro.6　High-Tech Nature Power-Up④ メールで 近況報告をしよう Steps④　相手にわかりやすい 説明をしよう	Pro.5　The Story of Chocolate Power-Up②　ポスターから 情報を読み取ろう Steps④　ディスカッションで使う 表現をおさえよう Pro.6　The Great Pacific Garbage Patch
道徳	礼儀 家族愛、家庭生活の充実 我が国の伝統と文化の尊重 向上心、個性の伸長	礼儀 家族愛、家庭生活の充実 我が国の伝統と文化の尊重 向上心、個性の伸長	礼儀 家族愛、家庭生活の充実 我が国の伝統と文化の尊重 向上心、個性の伸長